工業つ子

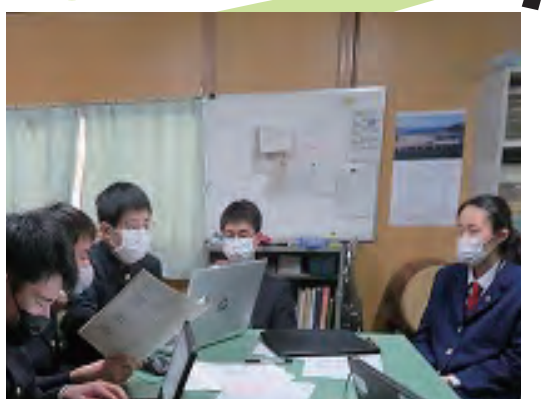
No. 222
—発行日—
2022. 02. 28
—編集—
長崎工業高校新聞部
—発行—
長崎工業高校新聞部

行事成功に向けて力を入れたい

新生徒会号

十二月二十二日のＬＨＲの時間に行われた令和四年度新生徒会役員選挙。今回の選挙では、会計の規定数が二名に対し、三名が立候補。久しぶりの投票となりました。会計以外の役員は信任投票で候補数者全員が信任されました。

十二月二十二日にＬＨＲの時間に行われた新生徒会選挙。昨年同様、新型コロナウィルス対策のため、立候補者、推薦者の演説は教室で聞き、投票を行いました。会計を除く役員が信任投票で入選。会計役員は、**正入木天空さん**（Ｊ２）と**熊雄優大さん**（Ｊ１）が入選しました。



▲新メンバーで競技大会に向け打ち合わせ

新生徒会役員に次のインタビューしました。

①一番力を入れたいこと。②今年の抱負を漢字一文字で。…その理由

☆生徒会長
尾崎蓮さん（Ｊ２）
①競技大会。
②「叶」…コロナの影響で色々と我慢してきたと思う。生徒のしたいことを私たちで叶えていきたいと思ったから。

☆副会長
陣内悠羽さん（Ｊ２）
①学校行事。
②「考」…まだまだ制限がある中での活動になるかもしれません。みんなで柔軟に考えて、たくさんの学校行事を成功させたいと思ったから。

岩下蒼さん（Ｊ１）
①会長や役員を支えていき、指示される前に行動に移していきたい。
②「挑」…今まで生徒会等の組織に入ったことはありませんでした。初めて生徒会に選ばれたので、初めてのことに対しても自ら考え挑戦していきたいと思ったから。

☆書記
村瀬凛さん（Ｊ２）
①校則の緩和、改善。
②「力」…どんな相手にも負けないパワーを持って、生徒会活動をしていきたいから。

森野翔太郎さん（Ｊ２）
①行事の中でも生徒会が運営を担当する競技大会に力を入れたいです。
②「零」…原点にかえり、０から見つめなおす一年にしたいと思ったから。

☆会計
正入木天空さん（Ｅ２）
①去年出来なかった活動などに特に力を入れたい。
②「発」…様々なことを発信して去年より良い学校づくりをしていきたいから。

熊雄優大さん（Ｊ１）
①役員のサポート。
②「努」…何事にも努力していきたいから。

さらなる躍進を

旧生徒会から一言

◇**前生徒会長**
塩田彪斗さん（Ｊ３）
「今年は、感染対策をすることで競技大会を実施できたのでよかったです。みなさんの協力があってこその成功です。ありがとうございました。新しく生徒会になったみなさんは、これまで以上に学校を盛り上げてください」

◇**前副会長**
森美咲さん（Ｊ３）
「大変なことも多かったが楽しかった。大変なことも多いと思いますが、がんばってください」

◇**前副会長**
山下璃音さん（Ｊ３）
「開催できなかった行事もあり残念です。行事などの企画は早めに取り組みましょう」

◇**前書記**
釜崎蒼大さん（Ｊ３）
「生徒全体を動かす運営は忙しかったですが、いい経験になりました。柔軟に対応して常に広い心を持ってがんばってください」と答えてくれました。

日常の言葉遣い

私たちは普段の生活で日本語を使っています。そのなかで「日本語が乱れている」という言葉を聞くこともよくあります。代表的な例を挙げるなら、「ら抜き言葉」。例えば「来られる」「見られる」などの可能表現を、「来れる」「見れる」と「ら」を抜いて表すことです。しかし、このような間違った言葉を使う人は私含め身近に多くいます。では、なぜ多くの人に使われているのでしょうか。

それは日常の会話の中では、「来れる」は敬語と捉えることは難しく、どうしても可能の意味で受け取ると思います。相手に伝えるという点だけならば、ら抜き言葉にも有用性があるのかもしれません。日常会話でなら前後の言葉かや状況、場面から推測でき、意味が伝わることもよくあります。

しかしやはり正しい言葉遣いは大切です。私は今、新聞部で文章を書いています。読み手に伝えるためには、正しい日本語で読みやすい文にしなければいけません。好みはありますが、ら抜き言葉だけでなく、さ入れ言葉などの乱れた日本語は読む人からすると読みにくいものです。試しに小・中学校の時に書いた文章を見てみると、おかしな日本語があったりします。当時は文を書くことに抵抗や苦手意識がありました。ろくに本を読むこともなく、言葉に対しての意識が上がったような気がします。

まだまだ文を書くことに抵抗のある人、苦手意識がある人も多いはずです。実際に書いたり読んだりすることで、それはなくなると思います。

今後、進路決定に向けて志望理由や小論文など書くことになります。今のうちに本を読んで言葉に親しみ、相手に伝えるにはどうすればよいか、考えてみてはいかがでしょうか。（峰）

今日の一枚 ～バレンタイン～

今日の一枚は、顧問の松尾恵美子先生からもらった差し入れ（バレンタイン）。ポテトチップスがチョコでコーティングされていました。しょっぱさと甘さの塩梅がよく、とてもおいしかったです。私たちによって、あっという間になくなってしまいました。

最近今日の一枚が、今日のおやつになっているような気がします。次はイチゴについての一枚になる予定です。これは本当に新聞部おやつ紹介コーナになるかも？（峰）

功績をたたえ 高体連から表彰 ～ヨット部～

二〇二一年度に行われたヨット部の九州大会と全国大会。長工ヨット部はこの二つの大会で優勝しました。その功績を讃えて高体連から表彰をされました。本来は別に表彰式が用意されますが、今年は新型コロナウィルスの感染拡大防止の観点から県高体連会長が本校にお見えになり、校長室で行われました。表彰後ヨット部員と顧問の**三嶋由之先生**にインタビューしました。

▲受賞記念に集合写真

顧問
三嶋由之先生
「全国の強豪高校を倒したことを自分の自信にしてほしい。日本一のチームとして、誇りと責任をもち、今後の人生の宝にしてほしい」

部長
樋口波瑚さん（Ｉ３）
「優勝という目標を達成できたことが一番嬉しい。三島由之先生に恩返しすることも目標だったので、一番最高の形で恩返しすることができたと思います。これからも、周りでサポートしてくださる方々に感謝を忘れず後悔だけはしないように、一生懸命がんばってください」

副部長
山口綾子さん（Ｉ３）
「ヨット部に入る際に目標にした、優勝をすることができて本当に嬉しい。先生方に恩返しができたと思う。今回、優勝を勝ち取ることができたのは、みんなのおかげだと思う。感謝の気持ちでいっぱいです。これからも、緊張しすぎず、気軽に楽しみながら取り組んで、未来の後輩たちにも、技術や、感謝する心を忘れないことを伝えていけるようにがんばってほしい」

▲高体連からの表彰

松尾涼子さん（Ｉ３）
「一年生からの目標であった全国優勝をすることができ、恩返しすることが出来たと思います。振り返るとあっという間で、高校から初めてヨットに触れた私に、根気強くご指導してくださった、恩師の三嶋先生に出会えてよかった」

狩野遥風さん（Ｉ２）
「チームで九州、団体で優勝という目標を達成できてびっくりしました。インターハイで連覇することを目標にこれからもがんばっていきたい」

山口栞華さん（Ｉ２）
「初めての大きな舞台で勝つことの重みを感じました。先輩達の想いを受け継いで、自分達も高みを目指してがんばっていきたい」

廣橋花美さん（Ｃ１）
「先輩方が掴んだ優勝を連覇にしていけるように取り組んでいきたい」

青春日記♪

どうも、みなさんこんにちは。二月も終わりに近づき、大学受験まで約七カ月となり焦りを覚えています。峰です。

三年生は卒業式まであと少し、本当に二年生だけでの部活動となりました。勉強や部活に悶え苦しみながら、これを書いています。少しずつ部員は増えているものの、状況は悪化するばかり。発行しなければいけない新聞は数多くあります。入ってくるであろう後輩たちに期待したいところです。ちなみに、中学生の弟もつい先日定期テストを受けていました。三〇点以下を一つでも取ったらゲーム没収と言われ、死ぬ気で勉強をしていました。学生の本分は勉強。兄弟ともども勉強に追われ、苦しんでいます。弟は何とか三〇点以下をとることはなく、喜んでいたようです。何か目標を作って取り組んだほうが、勉強に対する意識が上がるかもしれませんね。

ところで、最近は朝と昼の寒暖差が激しいですね。こうなってくると、やる気というやる気全てがなくなっていくような感じが…。私含め、家族は朝が弱く、それに加え寒いときたらなおさらダメになります。かと思うと昼は十度を超える日があったりして、不思議な感覚です。寒いと温かいの繰り返しの日々です。それなのに弟ときたら、半袖半ズボンで家中を歩き回っています。体調をくずさないか心配ですね。いつかそうなりそうで怖いです。

何だかんだ、ついつい弟のことを心配してしまう日々です。季節の変わり目、体調管理に気を付けましょう。（峰）